



2021年11月2日

各 位

会 社 名 株式会社東陽テクニカ  
代表者名 代表取締役社長 高野 俊也  
(コード：8151、東証第一部)  
問合せ先 常務取締役 柏 正孝  
(TEL. 03-3279-0771)

### 新・中期経営計画“TY2024”策定に関するお知らせ

この度、当社グループでは、2022年9月期を初年度とする3ヵ年の新・中期経営計画“TY2024”（2022年9月期～2024年9月期）を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

#### 記


中期経営計画“TY2021”では成長戦略を掲げ、収益基盤の強化を行ってまいりました。新・中期経営計画“TY2024”では、事業戦略、財務・資本戦略、経営基盤強化の3本柱を軸とする成長戦略を掲げ、サステナブルな社会の実現に貢献する計測ソリューションプロバイダーとして企業価値を向上させ、ステークホルダーへの還元を推進してまいります。

#### “TY2024”経営指標

	2021年9月期実績	2024年9月期
連結売上高	235億円	300億円
連結営業利益	17億円	35億円
ROE	5.8%	8.0%

※中期経営計画“TY2024”の詳細につきましては、別添資料をご参照ください。

以上



株式会社東陽テクニカ

# 中期経営計画 “TY2024”

2022年9月期－2024年9月期

作成：2021年11月2日

1. “TY2024”の経営戦略
2. サステナビリティ／SDGsへの取り組み
3. Appendix

# 1. “TY2024”の経営戦略

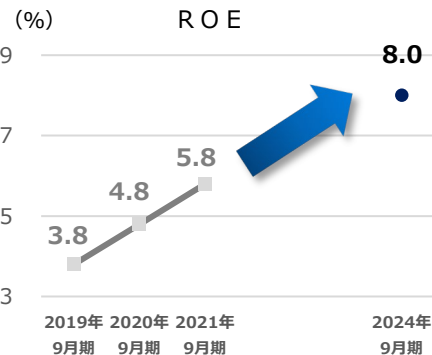
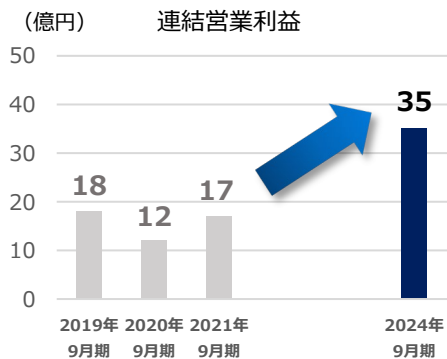
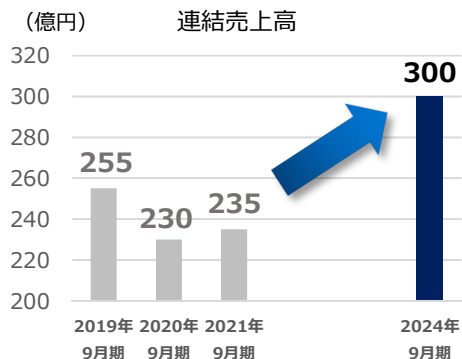
## 2. サステナビリティ／SDGsへの取り組み

## 3. Appendix

# “TY2024”経営指標

## ■ 経営指標2024年9月期

連結売上高	連結営業利益	ROE
300億円	35億円	8.0%



# 事業セグメント別売上高

## 事業セグメント

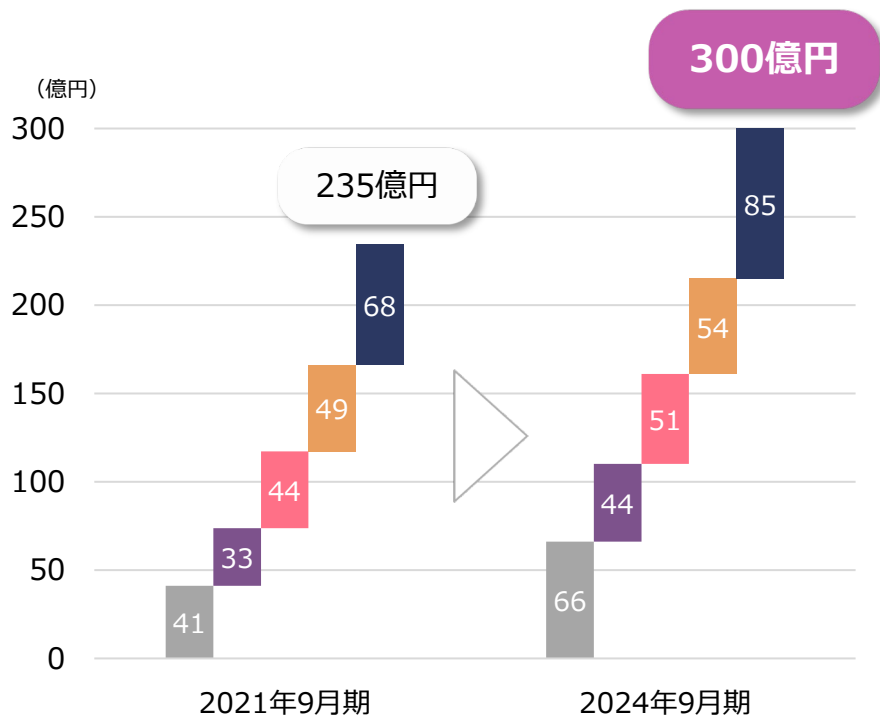
情報通信／情報セキュリティ

物性／エネルギー

機械制御／振動騒音

EMC／大型アンテナ

その他セグメント／投資



# 環境の変化と当社の強み

地球温暖化と自然災害の増加

急速な技術革新

超高齢社会と人口減少

ウィズコロナと働き方改革

環境の変化

持続可能な社会の実現に貢献する  
計測ソリューション・プロバイダー

当社の強み

最先端の“はかる”技術の  
リーディングカンパニー

技術オリエントで顧客ニーズを  
理解したソリューション提案力

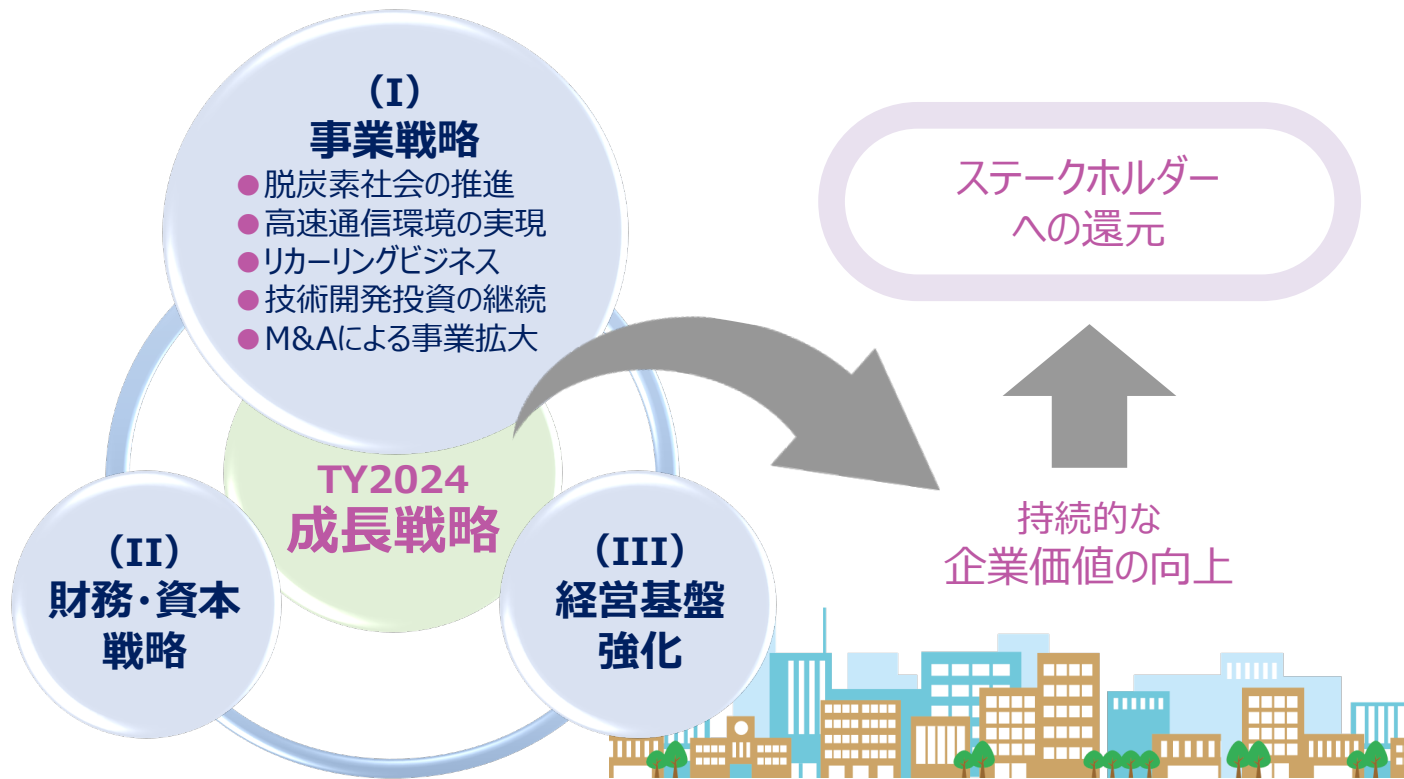
計測ノウハウを活かした  
自社オリジナル製品の開発力

信頼される手厚い技術サポートを  
付加価値とし、安心・安全を提供

“はかる”技術で未来を創る

# 持続的な企業価値の向上

(I)事業戦略、(II)財務・資本戦略、(III)経営基盤強化の3本柱を軸に成長戦略を実行





# (I) 事業戦略 – 脱炭素社会の推進

## ■ 電動化

- 農機・建機、航空機、船舶などのモビリティ分野開拓
- シミュレーション用途の高度なシステム開発と拡販

## ■ 次世代電池

- 当社のノウハウ・特許技術・自社開発製品による競合との差別化と海外展開

## ■ 再生可能エネルギー

- 次世代太陽電池やパワー半導体の開発などエネルギー効率向上ビジネスの拡大
- 洋上風力発電設備向けの海中海底計測ビジネスへの参入



EV充電アナライザ/シミュレータ



新型プラズマ走査顕微鏡



水中ロボット

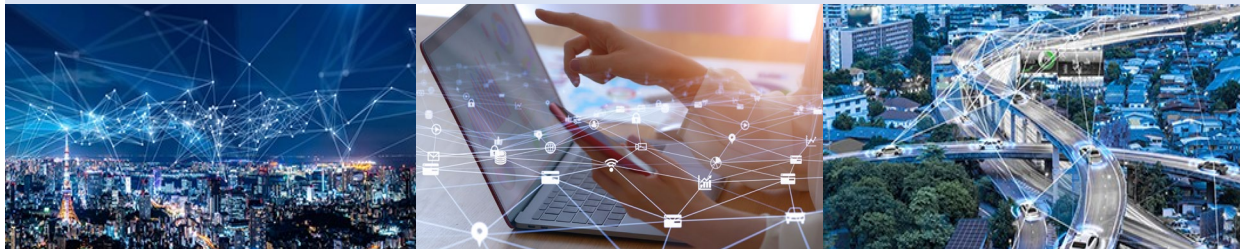
# (I) 事業戦略 – 高速通信環境の実現

## ■ 5G (5th Generation) ソリューション

- 5Gの障害解析・ネットワーク増強負荷試験ツール
- C-V2X\*評価システム
- コネクテッドや自動運転向け無線通信性能計測システム
- 今後活性化が見込まれるローカル5G市場向けソリューション

## ■ DX (Digital Transformation)

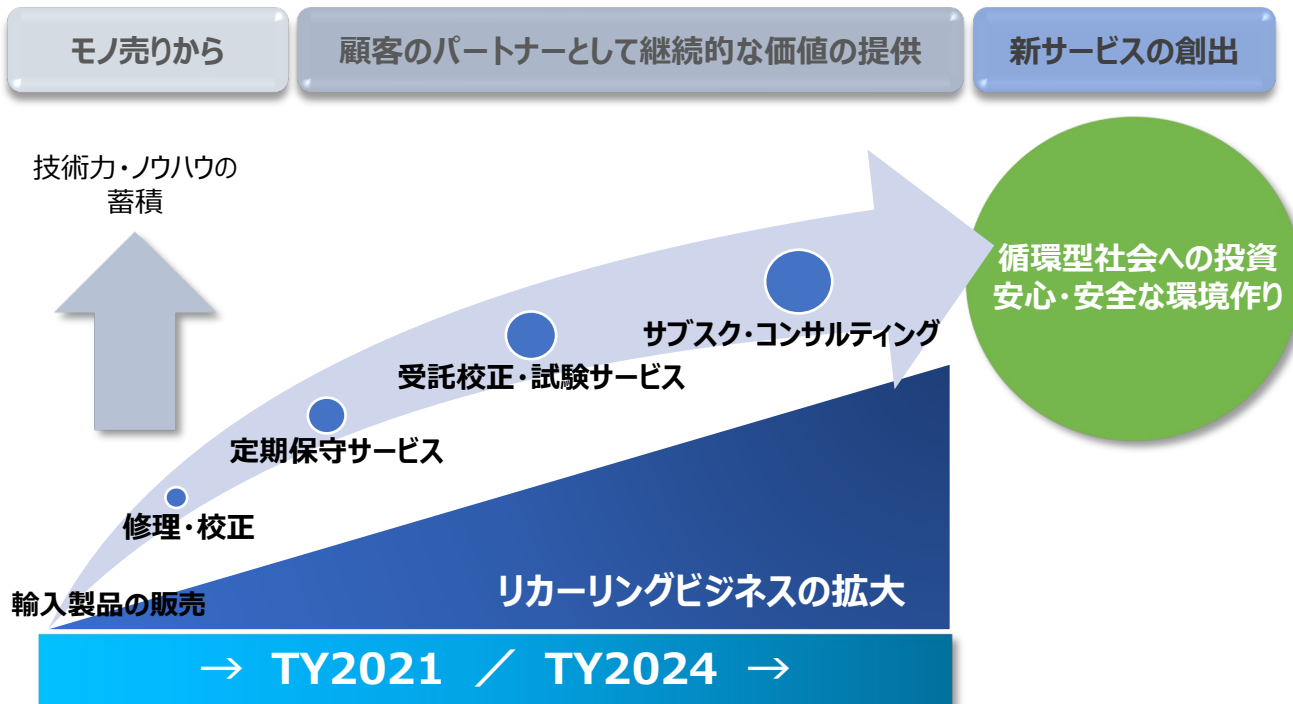
- リモートワーク増加に伴う情報セキュリティ管理ツール・教育ツール
- ゼロトラストセキュリティ\*における情報資産の防御ソリューション
- DX開発を促進するためのソフトウェアビルド高速化及びモバイルAPテストツール



C-V2X\* : Cellular Vehicle to Everythingの略称、5Gセルラーネットワークを利用して車があやゆるものと通信する技術  
ゼロトラストセキュリティ\* : 何も信頼しない (ゼロトラスト) ということを前提に講じるセキュリティ対策

# (I) 事業戦略 – リカーリングビジネス

## ■ 循環型ビジネスによる安定的な収益を確保



# (I) 事業戦略 – 技術開発投資の継続

## ■ 自社開発・新技術分野への投資

- 技術開発の継続（研究開発投資3年間で20億円）

“TY2021”で築いた製品開発ノウハウや事業化の実績



オープンイノベーションの推進 『仲間づくり』

国内外の企業・大学・研究機関との技術提携

### ■ 既存製品のエンハンス

- 大容量ポケットキャプチャ／解析システム
- A-TDS\*法エミッション計測評価システム
- 実映像ADAS評価ソリューション「Real Video Drive Player」

### ■ 新技術分野へのチャレンジ

- AI技術による計測支援プラットフォームの汎用化
- 疾病を早期に発見する新解析ソリューション
- 健康寿命の延伸を支援する歩行計測
- OLED\*や太陽電池などの有機材料の新評価ソリューション

A-TDS\* : Accelerated Time Domain Scanの略称、放射エミッション測定において、リアルタイムにスペクトラム解析できる高信頼測定を実現した新しいコンセプトの計測方法

OLED\* : Organic Light Emitting Diodeの略称、有機発光ダイオード

“はかる”技術で未来を創る



# (II) 財務・資本戦略

## 積極的な株主還元政策を実行

### “TY2024”配当方針

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営政策と考え、DOE（自己資本配当率）4% または連結配当性向60%のいずれか大きい配当額を選択し、安定的かつ積極的な配当を行ってまいります。

(ご参考)

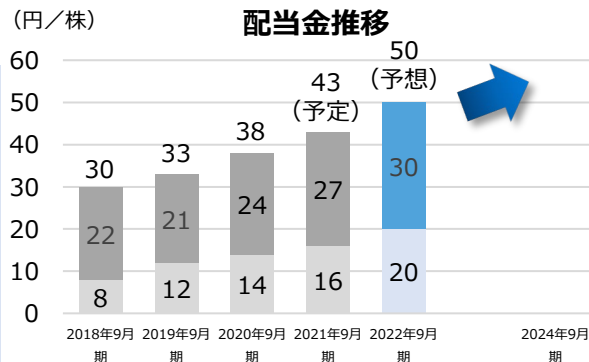
先期までの配当方針:「連結配当性向60%程度」

### 自己株式取得

- 引き続き、自己株式の取得を適宜検討

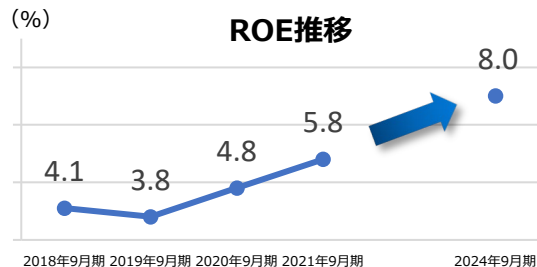
## 資本効率向上

“TY2024”指標 ROE = 8.0%



### “TY2021”自己株式取得実績

2019年9月期	273,700株
2021年9月期	959,000株



\*はかる\*技術で未来を創る

# (III) 経営基盤強化

ダイバーシティと人権尊重により、  
すべての社員が自分らしく働くことのできる  
職場環境づくりを推進

CGコードにコンプライすることにより、  
経営の透明性・健全性を高めるとともに  
経営効率向上を図る

社員のキャリアアップ支援と評価制度の充実により  
グローバルに活躍できる人材の育成を推進

各種委員会活動とモニタリングを通じた  
内部統制の強化により、リスク管理の充実を図る

働き方改革と健康経営により  
ワークライフバランスを推進

階層別、職種別など  
多様な社員教育の実施により、  
全社員へのコンプライアンス意識の浸透を図る

多彩な人財の育成と活躍

健全で強固な経営基盤の確立

1. “TY2024”の経営戦略

2. サステナビリティ／SDGsへの取り組み

3. Appendix

## 企業理念

### “はかる”技術で未来を創る

はかる技術のリーディングカンパニーとして、豊かな社会、人と地球に優しい環境創りに貢献する

### テクノロジーインターフェース

最先端の計測ソリューションを世界の産業界に提供し、技術革新を支援・促進する

### 企業価値の向上

計測システム・製品・サービスを創造し続けることで企業価値を向上させ、ステークホルダーと社員に繁栄をもたらす

## 行動指針

### プロフェッショナルであれ

誠実に物事に取り組み、品位と能力の向上に努める

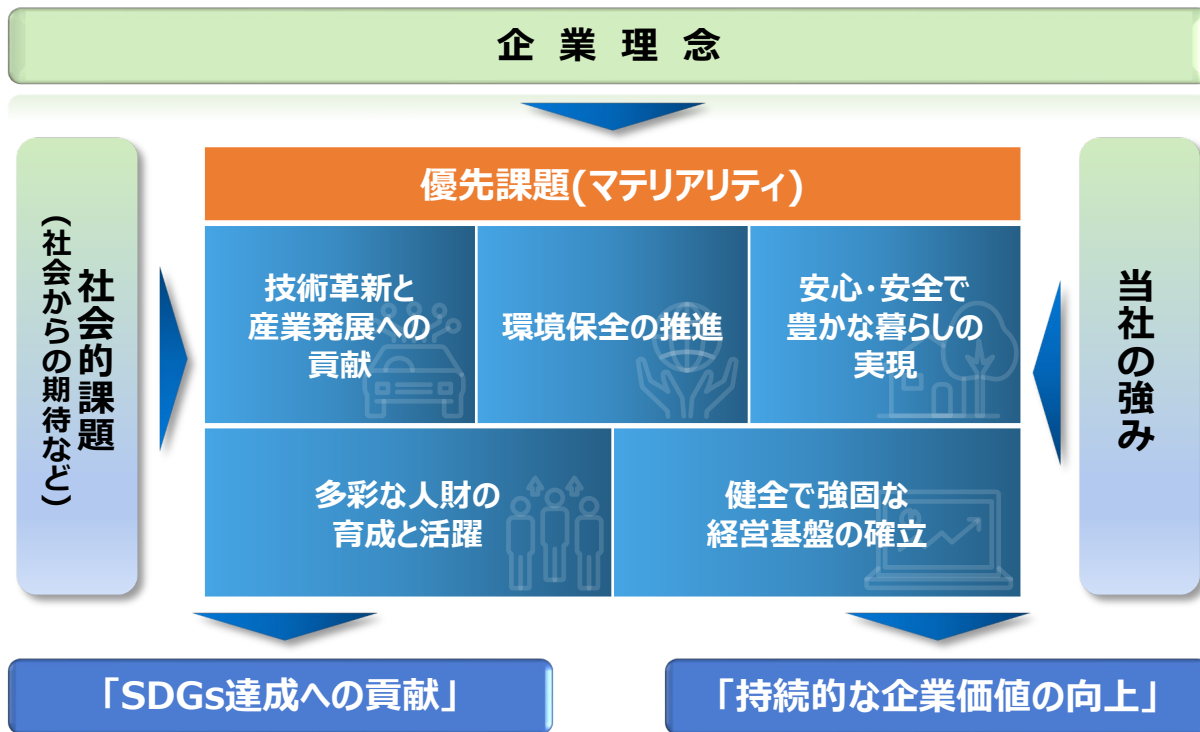
### イノベーターであれ

柔軟な発想と勇気を持って、新しい技術や事業に挑戦する


























# 当社の目指す姿

企業理念に基づき、優先課題に全社一丸となり取り組むことで、SDGs達成への貢献と持続的な企業価値の向上を目指します



# SDGsへの取り組み

	優先課題	活動目標	貢献するSDGs
事業を通じた社会課題解決	技術革新と産業発展への貢献	次世代モビリティ、次世代通信の開発支援 オープンイノベーションの加速 最先端技術の振興 高品質・高性能を保つ体制の強化	      
	環境保全の推進	脱炭素社会の推進 循環型社会の実現 きれいな海の実現	    
	安心・安全で豊かな暮らしの実現	安全で安定した通信環境の実現 災害対策の促進 安全なモビリティ社会の構築 健康の増進への寄与	     
経営基盤	多彩な人財の育成と活躍	多様性と人権を尊重する組織の推進 持続的な能力開発の推進 安心して働ける職場環境の強化	     
	健全で強固な経営基盤の確立	健全で強固なガバナンス体制の維持・強化 リスク管理体制の整備・強化 コンプライアンス遵守の徹底	  

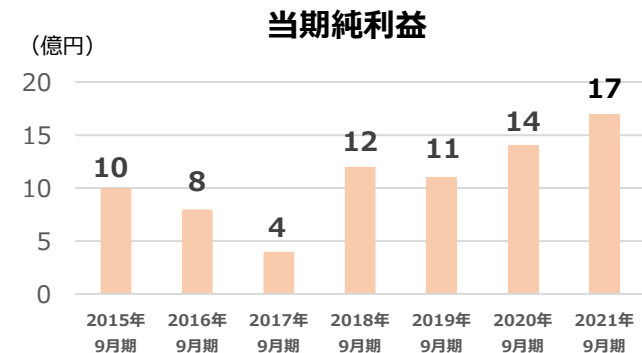
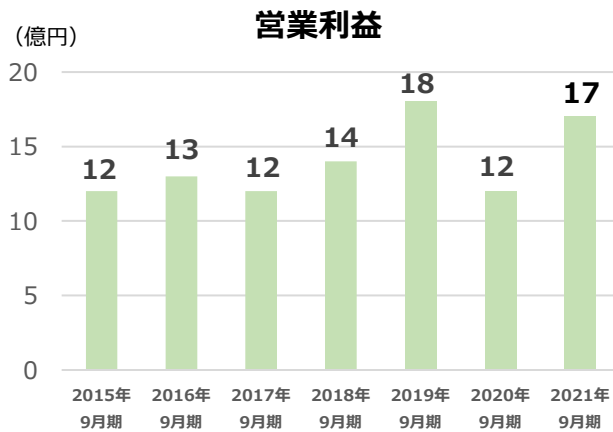
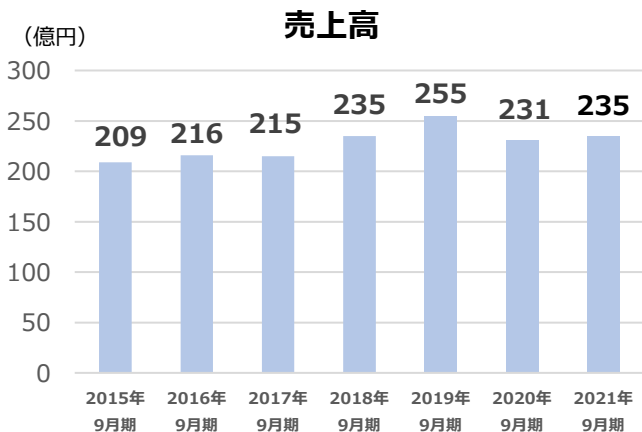
“はかる”技術で未来を創る

1. “TY2024”の経営戦略

2. サステナビリティ／SDGsへの取り組み

**3. Appendix**

# Appendix - 財務情報



## “TY2024”指標 (2024年9月期)

連結売上高	300億円
連結営業利益	35億円
ROE	8.0%

# Appendix - 用語説明

- **5G** : 5th Generationの略称、第5世代移動通信システム
- **ローカル5G** : 地域や産業の個別のニーズに応じて地域の企業や自治体等の様々な主体が、自らの建物内や敷地内でスポット的に柔軟に構築できる5Gシステム
- **DX** : Digital Transformation (デジタルトランスフォーメーション) の略称
- **リカーリングビジネス** : 継続収益 (リカーリングレベニュー) を得ることを目的とした循環型ビジネスモデル
- **C-V2X** : Cellular Vehicle to Everythingの略称、5Gセルラーネットワークを利用して車があらゆるものと通信する技術
- **ゼロトラストセキュリティ** : テレワークやクラウドサービスの普及により、オフィスとインターネットとの境界を防御する既存のセキュリティ対策では意味をなさなくなっており、何も信頼しない (ゼロトラスト) ということを前提に講じるセキュリティ対策
- **ADAS** : Advanced Driver-Assistance Systemsの略称、先進運転支援システム
- **A-TDS** : Accelerated Time Domain Scanの略称、放射エミッション測定において、リアルタイムにスペクトラム解析できる高信頼測定を実現した新しいコンセプトの計測方法
- **OLED** : Organic Light Emitting Diodeの略称、有機発光ダイオード
- **SDGs** : Sustainable Development Goalsの略称、2015年に国連サミットで採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標

# Appendix - 会社概要

商号	株式会社東陽テクニカ
英文商号	TOYO Corporation
上場	東京証券取引所市場第一部 (コード : 8151)
代表者	代表取締役社長 高野 俊也
本社所在地	〒103-8284 東京都中央区八重洲一丁目1番6号
設立年月日	1953年9月4日
資本金	41億5,800万円
従業員数	528名 (連結) / 493名 (単体) *2021年9月30日現在
Webサイト	<a href="https://www.toyo.co.jp/">https://www.toyo.co.jp/</a>

## ■ プライム市場への移行方針

東証にて2022年4月に予定されている新市場区分について、当社は「プライム市場」の上場維持基準をクリアし、取締役会において同市場選択を決議しました。

本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものであり、経済情勢や市場動向の変化等、様々な理由により変化する可能性があります。従いまして、本資料は、記載された目標・予想の達成および将来の業績を保証するものではありません。

お問い合わせ先  
株式会社東陽テクニカ  
経営企画部  
toyo-ir@toyo.co.jp